

要請番号 (JL51525B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G102 環境教育		個別	交替 3代目	2年	・ 2026/2 ・ 2026/3 ・ 2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

環境・森林省

2) 配属機関名 (日本語)

ケニア林業研究所

3) 任地 (キアンブ郡ムグガ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ケニア林業研究所(KEFRI)は1986年に設立された林業、林産業の研究開発機関で、森林開発、生物多様性、環境管理、林産開発、社会経済開発等の課題に取り組んでいる。ナイロビ北西部の郊外にある本部は研究施設、林産試験場等を備える。本部の他に、全国に5つの地域研究所を有し、本部およびキツイ研究所は1986年に日本の無償資金協力支援により設立され、以降JICAは専門家およびJICA海外協力隊員の派遣、KEFRI職員の本邦研修受け入れを行ってきた。2025年8月現在、2代目の隊員が活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

本要請は、KEFRIが行う近隣の学校への環境教育ならびに、地域コミュニティの環境保護・生活改善活動に対する支援である。2021年10月から活動している初代隊員は、同僚と共に近隣の小学校で授業後の環境クラブを立ち上げ、植林の普及などの環境教育を実施している。また地域コミュニティでは、同僚と共に種苗生産・管理・販売を支援しながら、果樹栽培、養鶏など新しい取り組みを導入した。2代目は初代隊員の活動を引継ぎつつ、植林活動の一環として果樹栽培を新たに計画している。配属先の環境教育活動や地域コミュニティ支援の経験・技術は未だ十分ではなく、同僚たちへの指導力・運営管理能力の育成には継続的な支援が必要であり後任要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚と相談しながら、以下の活動をおこなう。

- 小学生～青年(20代)への環境教育や植林普及活動
- 地域コミュニティでの環境保護活動(種苗生産・管理、植林)及び、配属先近辺の森林を生かしたエコツーリズムの構築
- 地域コミュニティでの所得収入向上を通じた生活改善活動(種苗販売、養蜂、果樹栽培)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務机、椅子、コンピュータ、プリンター

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

配属される部署(研修事業部)の職員
部長1名(50代女性)、部長補佐1名(40代女性)、職員3名(女性30-40代)
活動対象者:
地域住民、小学生～青年(20代)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]: ()

[学歴]: (大卒) 教育学 備考: 環境教育を実践するため。

[性別]: () 備考:

[経験]: (指導経験) 2年以上 備考: 環境教育を実践するため。

[汎用経験]:

- ・環境関連活動の経験や知識

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (10～25℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

【類似職種】

・林業・森林保全

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。